

劇評

ラビア・ムルエ連続上演『ピクセル化された革命』

監督：ラビア・ムルエ [レバノン]

ムルエは、見るものを今その瞬間に向けさせる。『ダブル・シューティング』は、見ることだけでは決して得られない感情を起こさせる。見るものを、不安定に、縮こませるようだ。不可解に圧倒的に力強い現実が、突然目の前に露になる。

Ellen Blumenstein, <http://www.frieze.com/> (イギリス)